



親子でクイズに取り組んでくれました



お菓子たくさんつかめるかな〜?



心温まる作品に皆さん見入っていました

平成最後の 非行防止展

S.少年よN.ネットの利用はS.慎重に



会場の様子〜エルパはたくさんの人でした〜

平成30年12月1日、ラブリーパーターナーエルパの1階エルパススペースにおいて、非行防止展を開催しました。
来場した小中高生やその保護者たちに、パネル展やクイズを通してSNSやインターネットの正しい利用について考えてもらいました。

12月1日(土曜日)午後からエルパ1階で非行防止展の手伝いをしました。エルパ館内は大勢の人達で活気があり、SNSのポスターや絵手紙などを見ていただくため、風船を配り「SNSクイズのあとお菓子のつかみ取りがあります」と声かけしました。絵手紙を見て「とってもしょげずに書いていますね」と言ってくださる方もいました。お菓子のつかみ取りも皆さんいっしょうけんめいでとても楽しそうでした。朝早くから手伝われた方々大変だったろうと思います。

補導員の方も若い人が多くなりました。私の地区も次は若い方と交代します。非行防止展へも家族でもっと見に来てもらいたいと思います。風船配り、お菓子のつかみ取りも楽しく手伝わせていただきました。

(豊地区 西山千代枝)



補導員だより

第61号
平成31年3月
福井市補導員連絡協議会
編集・発行
総務広報部会

自信を持って
愛の声かけ

おめでとうございます!



知事感謝状の受領者(写真は立壁氏)

平成30年11月10日、青少年育成福井県民大会が鯖江市において開催され、当会の補導員4名が知事感謝状を受領されました。

【受領された皆さん】※敬称略

- 立壁 和典 (日新地区)
- 若杉 知佐恵 (順化地区)
- 藤田 哲朗 (松本地区)
- 西山 千代枝 (豊地区)



ありがとうございます!

平成30年10月5日、福井中央ライオンズクラブ(会長 坂口一男)様の全面的なご協力のもと、SNS利用上の注意を促すポスターを作製しました。

市内の小・中・高校へ地区補導員が赴き、掲示を依頼しました。子どもたちの健全育成に役立つことを願っています。



さて、私達補導員4名は、仕事の関係で日曜日しか活動できないため、通常の巡回は、毎月末日の曜日午前11時から森田地区内を車で移動しながら、公園、寺社境内、駅、学校周辺、コンビニ、スーパー等を重点に巡回しています。

地区内の祭礼、夏祭り等のイベントが行われる時は、自主的に特別補導を行っています。

巡回をしても、公園で遊ぶ親子連れはいますが、声かけを必要とする子ども達に出会うことは非常に少なく、平穏な状況を保っています。今後も、引き続き街頭活動により、非行のない地区を目指していきます。

(砂長谷 憲治)

各地区からの補導活動報告記

こんばんは! 森田地区です

福井市の北部に位置する森田地区は、昭和42年に吉田郡から福井市と合併し、平成30年には森田地区合併50周年記念文化祭が盛大に開催されました。人口は前年よりも575人増えて14,066人、戸数も前年より313戸増えて5,082戸です。

地区内には、森田小学校と森田中学校と仁愛女子短期大学の3校があります。近年、新築住宅の増加により、森田小学校の児童数は923人と県下1位のマンモス校になり、31年度の新入学児童は約190人いて教室が不足する問題が発生しています。今後、森田中学校も同じ状況になってきます。

当地区は、団結力が良く、森田夏祭り、花火大会等、地区独自の行事が多く行われています。

視察研修

～ 大阪府・浪速少年院 ～

平成30年10月25日、浪速少年院を視察し、所長から施設の概要と入所してくる子どもの特徴などのお話を伺いました。浪速少年院は、比較的非行度の軽い18・19歳の少年が多く入所している施設ということでした。



浪速少年院 視察研修に参加して

浪速少年院は吹田市の郊外にあり、耕地や自然林に囲まれた立派な施設でした。少年院送致の決定を受けた少年たちの生活を直接見ることはできませんが、職員の説明と施設見学から印象に残ったことを記します。

一つめは職業訓練が充実していることです。約半数が高校中退者なので、高校の教科の学習、パソコンの指導の後、電気工事、溶接、木工、クリーニング、農園芸など各科に分かれて訓練を受けます。資格も取得できます。しかし就職に役立つのは電気工事士ぐらいで、施設を出てからの就職は大変難しいそうです。

二つめは、施設に掲示されている少年たちの「心の声」です。彼らの本音が表れていて興味深く読みました。社会や家庭の不満や自分の将来に対しての不安が伝わり、心が痛みました。また、様々な理由で機能しない家庭、面会を拒否する両親など、少年たちの課題は尽きません。

私たちは、補導の他に数年前から生活困窮家庭の子どもたちの学習支援をしています。困窮の連鎖を断ち切るためにぜひ高校に入学し、仕事に就かせたいと指導しています。しかしこの施設の少年の多くがせっかく入学した高校を中退していることが残念でなりません。

社会全体で少年たちを守り育てる心と仕組みを作ることが大切だと感じます。

(主任児童委員 寺本 峰子・山田 満子)

合同研修補導

平成30年7月30日と9月1日に、補導員が合同で駅周辺を補導しました。特に9月は、同じ日に時間帯を変え、16時からと18時からの2回実施しました。

普段とは違う場所・メンバーでの活動でしたが、お互いの声かけの仕方を学んだり、お店の人との良好な関係を築く様子に刺激を受けていました。

平成30年7月30日と9月1日の合同研修補導に参加させていただきました。

補導で何十年か振りに、幼い頃遊んだ中央・順化の地域を懐かしさと街の変貌に驚きながら巡回しました。普段、私の補導チームが回っている公園は、幼児が小学生が遊んでいます。さすがが市内中心地とあって、高校生カッパルやスケボーをする中学生たちがいて、少々びっくり。

今回の合同研修の御蔭で、他の地区の方々がどんな感じで声掛けをするのか見せていただき、参考になりました。今後、一人でも多く声掛けが出来ればと思います。

(東安居地区 牧野 周子)

(アンケートより)

- ・ 一班の編制が3人だったので、ちょうどよい人数でした。
- ・ 合同研修補導の回数を増やした方がよい。
- ・ 夏休みのオープンキャンパス等があり、中



補導員日記より

◆ JR駅の障害者用トイレの警報機が鳴っていたので、ドアをたたき声かけ。女子学生がトイレの中で化粧、着替えなどをしていたら30分以上になり、警報機が鳴り出したそうです。早く帰宅するよう注意。

◆ 天気もよく、公園で楽しく遊んでいる様子が見られました。田原公園では体をを使った遊びでしたが、重藤公園では3人の男児がゲームをしていました。家でするとおこられるからだといっています。暗くならないうちに帰るよう声かけをしました。

◆ ベルのゲームコーナーで保護者と一緒の小学生児童3組に声かけ。いずれの親からも「保護者同伴でもダメか?」と言われるが、「ダメです。」と伝えた。

◆ アオッサ6階で高校生男2名、女3名がフロアでダンスしていたため、公共の場であることを話し、解散させる。

◆ 飲食店のコンセントで多数の携帯を充電している高校生6名を注意。

◆ ゲームセンターに子どもだけで来ている子は、「ほどう」の文字を見ると逃げていってしまつて、話しかけられないこともありました。



～活動報告～

各地区の公民館だよりに、補導員の活動を紹介します。記事の掲載をお願いしました。ご協力くださいました公民館の皆様、地区連絡責任者の方々、ありがとうございました。

NO.217 酒生公民館だより 平成30年11月5日発行
発行所:酒生公民館 TEL/FAX:0776-41-2503
E-mail:sakou-kifms1.fctv.ne.jp URL:http://fctv.sakou-ki/

☆楽しいお天気教室☆
【日時】11月13日(火) 午前10時～
【場所】酒生公民館 2Fホール
【講師】村田 光広氏(福神テレビ気象キャスター)
【内容】今年の冬はどうなる?
天気予報の見方や気象教室について知ろう。
参加費無料!楽しく天気予報を学びましょう!
かえるの学校の授業参加です!お待ちしております!

☆公民館職場体験☆
11月8日・9日の2日間、酒生一中の生徒さん2名が酒生公民館に職場体験に来て下さいませ!
※今日、初めての取り組みです!
公民館だよりの作成やいろいろな体験をさせていただきます!

こんにちは!補導員です
街頭補導で「愛のひと声」をかけています。
【ほどう】地域の子どもたちすべてを「愛のひと声」でお支えし、「早く帰ろう!ほどうの声」を響かせるのが私たちの目標です。

11月は「秋の火災予防運動期間」です
悪い事案を減らし、経典器具を使用する機会が増えています。また、火災が発生しやすい時期となりますので、火の取り扱いには十分注意してください。
【平成30年度全国統一防火検閲】
忘れてない?サイフにスマホに火の検閲

救急車で運ばれた人の約半数が入院を必要としない軽症という現状です。
みんなで上手に利用しましょう。

青少年に関するご相談は
ヤングライフのへ
0120-57-4970
平日:10～17:00
(月曜の夜21:00まで)
少年愛護センター

このような形で掲載していただきました。

編集後記

昨年は豪雪に始まり、豪雨・台風・地震と季節ごとに大きな災害が続き、心が塞ぎます。災害に遭われたかたがたに心よりお見舞い申し上げます。

ひとつひとつの活動が、地域で大きな役割を果たしていることを、補導員だよりに通じて感じます。

平成の年号も終わり新しい年号が始まるうとしています。

新年号に、夢希望を持って進もう。

(総務広報副部長 二ツ木 和夫)